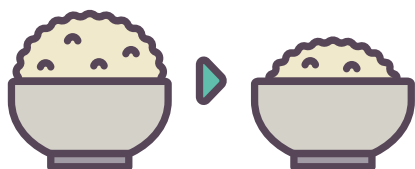


糖尿病は「症状がないから大丈夫」 ではありません



糖尿病は、初めて指摘されたときも、日常生活で困るような症状が出ないことがほとんどです。治療を始めても体調の変化を感じにくいので、「通院しても効果が分からない」「忙しいからまた今度でいい」と、受診を途中でやめてしまう方も少なくありません。

しかし糖尿病治療の目的は、「病気があっても健康なときと変わらない生活続けること」です。そのためには、この病気が“合併症を引き起こす病気”であることを理解することがとても大切です。

糖尿病には「6大合併症」と呼ばれる代表的なものがあります。目の病気（網膜症）、腎臓の障害、手足のしびれなどの神経障害、脳卒中、狭心症や心筋梗塞といった心臓の病気、足の血管が詰まる動脈硬化症です。これらに加えて、肺炎や尿路感染症などの感染症にもかかりやすく、重症化しやすいことが分かっています。さらに、がんや認知症のリスクが高くなることも報告されています。

外来では、こうした合併症が進んでしまったために、「本や新聞、テレビが楽しめない」「一日おきの透析が必要になった」「しびれで眠れない」「言葉が出ず話しにくい」「息切れや足の痛みで歩くのがやっと」「足の傷が治らず切断となった」など、生活が大きく変わってしまい、後悔の思いを抱えて通院を再開する方に少なからず出会います。

糖尿病と診断されている方は、薬の有無にかかわらず、通院を続けることが何よりの合併症予防になります。まだ診断を受けていない方も、健診を定期的を受け、早めに糖尿病に気づくことが大切です。「症状がない今こそ」が受診のタイミングです。



糖尿病科 岩崎 裕明



とうめい厚木クリニック

〒243-0034 厚木市船子237

TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935

<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

予約・お問合せ電話番号

☎ 046-229-1950